

【質問】災害時の医療体制について教えてください。
(50歳、男性)

災害時の医療体制

【回答】災害による傷病

の特徴は、外傷の激しさと、一度に多数の受傷者が発生することです。被災した人々の救済には、一刻も早く必要な医療支援をつぎ込むことが大切です。このためにつくられたのがDMAT(災害派遣医療チーム)です。

DMATの主な役割は、被災地での情報収集とその伝達、現場でのトリアージ・治療・搬送、災害拠点病院における支援活動です。医師や看護師を中心とするDMAT隊員は、普段は全



おいては、医療機関や医療従事者も被災者となり、地域の医療供給体制が低下。

DMAT、JMATが対応

災害医療 コーディネイターも ネーターも

全国各地の病院で日常診療に携わる傍ら、日頃から災害時における訓練を受け、いつでも緊急出動できる体制をとっています。2015年3月末で1426隊9328人が登録を行っています。

被災から数日を経過すると、必要とされる医療は大きく変わります。被災地に

師会から日本医師会へ出動要請が行われ、それを受けて全国各地の医師会から派遣されます。チームの主な構成員は、医師、看護師、事務員であり、必要に応じては、理学療法士、薬剤師、栄養士などもチームに参加します。

加えて、外傷や避難所での不安定で慣れない生活から、平時の病気が悪化したり、新たな病気を発症する人も増えてきて、平時の医療体制では被災地の医療を守ることが困難になります。そこに携わるのがJMAT(日本医師会災害医療チーム)です。

JMATは、被災地の医

DMATのように特別な災害医療に対し訓練を受けている訳ではありませんが、この時期の医療状況は特殊ではあるものの、必要とされる医療は平時と大きく変わるものではなく、被災地に通常の診療を届け、被災者に安心をもたらすのがその大きな役割です。地域の医療が安定するまで支援は

続きます。この一連の流れで重要な役割を果たすのが、災害医療コーディネイターです。コーディネイターは、発災直後以降、刻々と変化する地域の状況から必要な医療資源を判断し、DMATやJMATを含めた医療支援を適切に配置する役割を果たします。平時からの養成と、情報を迅速かつ正確に集める組織作りが大切です。過去の甚大災害の経験が、昨今の災害発生時に生かされてきました。今後、南海トラフなどのさらなる甚大災害の発生が危ぶまれており、医療以外にも、国はさまざまな災害対策を練っています。皆さんも普段から災害時の対応について考えてみてください。
(県医師会)

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。